

川町の明日を創る会」の一員として、町内イベントのスタッフとしても活躍している。

「青年部の行動理念は『汗かいてなんぼ』という言葉に集約されます。損得だけでなく、自らが汗を流し、地域に貢献してこそ意味があるんです」と話す青年部部長の中嶋啓一 さん。

この言葉は、平成28年度に数々行われた青年部50周年記念事業に表れている。「企画から運営まで自分たちで動くことで、それぞれの事業を成功させることができました」

◇ ◇  
50周年を迎え、すでに次に向かつて動き出している青年部。

「やることの根本は変わりません。伝統を守りつつも時代に合った活動を行い、どんどん加速していきたい」と中嶋さんは熱意を燃やす。

「人口減少の時代に、働き世代が桂川町に住みたくなくなるようなことを、青年部が先導してやっていきたい。そのためにも、行政・町民の方の参加が不可欠。ぜひ、気付いた点や提案を、青年部に寄せてほしい」

町を愛する若者たちの力強い意思が、これからの桂川町の未来を作り上げていく。



## 青年部50周年記念事業



平成28年度中に行われた青年部50周年を記念した各種事業。未来の桂川町を担う子どもたちを対象としたものが多く行われました。

### 1 project 川口淳一郎教授 講演会 (10月3日/嘉穂総合高校)

「将来に対して幅広い視野を持ってほしい」という目的で、はやぶさプロジェクトマネージャーの川口淳一郎教授による講演が、桂川中学校・総合高校生徒を対象に行われました。桂川中学校3年生の本下聖童くんは、「色々な小惑星について知れた。新しいことへの取り組みの大切さが伝わりました」と話しました。

### 4 project 宇宙の授業 (12月7日/住民センター)

小学校5年生を対象に行われた宇宙の授業。JAXA職員による講演が行われ、惑星・宇宙ステーション・ロケット・人工衛星・宇宙飛行士などの話のほか、宇宙食の試食も行われました。講演後にはビニール袋ロケットを作り、重心の位置によって飛び方が変わるなど、児童たちはロケットの基礎をしっかりと学んだようでした。

### 2 project いのちの授業 (11月18日/住民センター)

お産劇や出産のDVDなどを通して、保護者とともに命の大切さを伝える授業で、桂川小学校・東小学校4年生が対象。講演後は、保護者と向かい合い、「生まれてきてくれてありがとう」と声をかけながらスキンシップ。子どもたちは、「えー」と照れながらも、スキンシップを笑顔で受け入れていました。

### 5 project 「住みたい桂川」開設 (12月7日/住民センター)

桂川町への定住化促進に向け、「まずは町外の人に桂川町を知ってもらいたい」という目的で、町内の店舗やおすすめスポットなどを紹介した桂川町情報サイト「住みたい桂川」を開設しました。

HP <http://www.sumitai-keisen.com>



### 3 project 熱気球教室 (11月26日/桂川小学校)

「小学校6年生に小学生生活の最後に思い出を作してほしい」という願いから開催された気球の授業。桂川小学校体育館で、熱気球が飛ぶ原理や気球の膨らませ方を学んだ後、運動場に設置された気球に乗り、空から桂川町を眺めました。気球が上がってから降りるまで、終始笑い続けていた

徳吉蘭さんは、「怖かったけど、下にいる人を踏んじらいそうな感じで面白かった」と、なかなかできない体験に興奮気味に話しました。

また、この日は、桂川町の郷土料理「九郎丸の地鶏館のおにぎり」と「だぶ汁」が、桂川町婦人会より提供され、子どもたちは地域に伝わる料理を堪能していました。

